



©Studio Ghibli
つまんちゃん

小金井 2016.9/1 No.461 月刊 こうみんかん

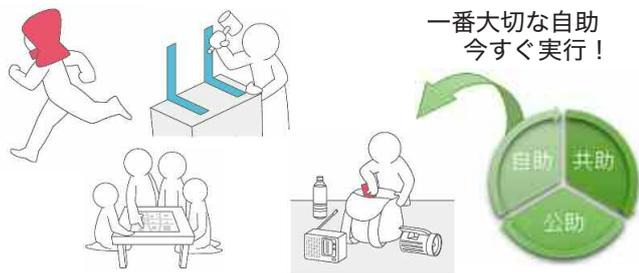
編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私。
仲間へのメッセージを。
この場所で！



■自助、共助、公助という言葉を知っていますか？

自助、共助、公助とは、防災または災害後の対応を考えるときの言葉です。一つ目の「自助」は自分で災害に備えたり、避難することです。自分の身を自分で守るという、防災にとって一番重要な行動です。二つ目の「共助」は、地域での救助・消火活動、避難の助け合いです。三つ目の「公助」は、市や消防・警察による大規模な救助活動、支援物質の提供、環境整備です。災害が起きた時には、自助・共助・公助が連携することで、被害を最小限に抑え、いち早く復旧・復興に向けた行動に移ることができます。



■共助、公助を支える防災公園の仕組み

防災公園とは「広域避難場所」や「大規模活動拠点」に指定され、災害から私たちの安全と命を守る場所となる公園です。小金井市内では、梶野公園、小金井公園、近隣市では武蔵野の森公園、府中の森公園等が指定されています。共助と公助を支える防災公園の機能を紹介します。

●広場

オープンスペースである広場は、避難生活のための大切な場所です。テントを張るほか、藤棚のような柱に専用シートを掛ければ建物が出来上がるものもあります。



●延焼防止のための植樹

火災は多くの被害をもたらすため、延焼火災を防ぐことが大切です。公園には、常緑樹で葉が密生し、水分を多く含むシラカシやアオキが植えられています。



●マンホールトイレ(災害対応トイレ・災害時トイレ)



災害時に最も困るのがトイレの問題です。マンホールトイレは水や電気の復旧が遅れている時でも利用できるトイレです。地下には下水道に直結している管が埋設されており、この上に便器とテントを組み立てて設置します。

●かまどベンチ

避難生活を送る際には食事が必要ですが、屋外での調理は簡単ではありません。それを解消するのが「かまどベンチ」です。普段は休憩用の腰掛けですが、いざという時には座面部分を外し、脚の部分を「かまど」として使うことができます。鍋を置くのにとっても便利で、ベンチの脚が風よけとなって焚き火が安定します。



●揚水ポンプ・防火水槽

災害時には、生活用水や消火用水として大量の水が必要となります。手動式の揚水ポンプと防火水槽は水の備えとして設置されています。公園によっては普段から揚水ポンプが手洗い用として使える場合があります。



防災公園の機能を実際に自分で確かめてみませんか？詳しくは、【インターネット検索：東京都公園協会 防災公園を知ろう】でどうぞ。

小金井市公民館では、地域の課題として防災に関する講座を数多く実施しています。災害に対応するには、災害への備えや心構えを生活習慣に取り入れることが大切です。お近くの学校などの一時避難所の確認、公民館の講座、東京都が配布した『東京防災』、小金井市や地域での防災訓練を上手に活用して、家族の安全を守りましょう。

成人学校 想像力を高めて
「その時」に備える防災実践講座 東分館

災害時には同時多発的に想定外の問題に直面するため、日ごろから考え、活用することが重要です。実際の現場写真やゲームをもとに想定外の状況を考え、非常食を日常の食卓で循環させる「常災兼備」の調理例を実習で行います。

小金井公園で防災公園としての機能を体験し、実際に使える工作にも挑戦します。実践する防災を暮らしの中に取り入れてみませんか？

日程	時間	内容	講師
10/25		減災 いまずぐできること	東京消防庁 小金井消防署
11/8	午前10時 ～ 正午	【野外研修】 小金井公園防災公園の機能見学とワークショップ	東京都立小金井公園サービスセンター
11/22		非常時のジレンマ	東京消防庁 小金井消防署
11/29	午前10時 ～	非常食を食べる	小室満子さん (料理愛好家)
12/13	午後2時	常災兼備食品を利用する	

※いずれも火曜日。

とき・内容・講師 上の表のとおり
ところ 公民館東分館集会室・家事実習室
東京都立小金井公園サービスセンター(野外研修)
対象 市内在住・在勤・在学の方 **定員** 20人(申込順)
参加費 1000円(材料費)
申込 9月16日(金)から電話または直接公民館東分館へ
問合せ先 公民館東分館 (☎042-384-4422)

市民講座 「わがまち歴史散歩
～人物・街道・商い～」 東分館

小金井市にゆかりのある人物や商店街の歴史、多摩地域にある旧街道などについて学び、実際に訪ね、その今昔を見つめることでわがまちへの愛着を深めます。

日程	内容
10/8	川崎平右衛門の足跡をめぐる(御栗林～真蔵院)
11/12	小金井小次郎とその遺産 (金蔵院～西念寺～小金井神社)
12/10	鎌倉街道と東村山の古寺を訪ねる(金井原古戦場跡～徳蔵寺など) マイクロバスで探訪
1/14	小金井市商店街の歴史をたどる

※いずれも土曜日。午前10時から午後2時頃まで。

講師 織壁哲夫さん、塚田善久さん(郷土研究家)ほか
対象 市内在住・在勤・在学の方で2時間程度歩ける方
定員 20人(多数抽選)
参加費 無料(入館料等自己負担あり)
持ち物 昼食、飲み物等
申込 9月25日(必着)までに、往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館東分館「歴史散歩係」(〒184-0011 東町1-39-1 ☎042-384-4422)へ。

成人学校 子育て・子育て支援
「のびやかな子育て学級」 貫井北分館

子どもにとって大切な心と体の結びつきを、様々な角度から学んでみませんか。参加者同士の交流も講座のテーマです。

日程	内容	講師
10/3	心穏やかに過ごすための 脳と身体のエクササイズ	嵯峨慈子さん (健康運動指導士)
10/17	家庭でできる、子どもの能力 開花	
10/24	わが子とふれあう のびやかな手遊び	真木千壽子さん(学 芸の森保育園園長)
10/31	目で楽しい、食べてうれしい 小金井野菜で健康食育	酒井文子さん(「農」 のある暮らしづく りアドバイザー)

※いずれも月曜日、午前10時から正午まで。

とき・内容・講師 上の表のとおり
ところ 公民館貫井北分館
対象 市内在住・在勤・在学の保護者
定員 16人(申込順)
参加費 300円(10月31日分の材料費)
その他 保育(10人まで。おおむね2歳以上、要事前申込)
申込 9月2日(金)から電話、Eメールまたは直接、
公民館貫井北分館 (☎042-385-3401 ☒k020415
@bz04.plala.or.jp)へ。



成人学校
「木の実ウォッチング」 貫井南分館

自然の多い小金井で、木の実の知識を深め、野外で観察体験をしてみませんか。

日程	内容
10/13	【座学】木の実、草のタネの話
10/20	【野外研修】小金井公園の樹木観察
10/27	【野外研修】野川公園のドングリ観察

※いずれも木曜日、午前9時30分から11時30分まで。

とき・内容 上の表のとおり
場所 公民館貫井南分館、小金井公園ほか
講師 大石征夫さん(森林インストラクター)
対象・定員 市内在住・在勤・在学の方20人(申込順)
※原則全日(3回)出席可能な方とします。
参加費 無料
その他 野外研修は現地集合現地解散となります。
申込 9月16日(金)から電話または直接、公民館貫井南分館(☎042-383-1168)へ。



昨年おこなった、同講師によるフラワーウォッチングの様子

第24期 企画実行委員のひと言 PART1
任期 平成28年7月21日～30年7月20日
貫井南分館・緑分館



後列右から、山本、横須賀、島田、大野、杉井、大島
 前列右から、杉井、大島

■緑分館企画実行委員 大島 建雄

今期から就任しました。市民に開かれた公民館の様々な活動を通してお役に立てればと思っています。市民の皆様が興味を持ち、多くの方が参加いただける企画を立てていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

■緑分館企画実行委員 大野 雅弘

2期目となりますが、地域的な拠点としての公民館の役割を果たすべく、マンネリに落ちぬ様、魅力ある事業、講座を推奨し、企画していきたいと思っております。事業が参加者に満足を与える事が、その目標と考えております。

■緑分館企画実行委員 島田 隆

私たちの周りには、政治や経済その他の分野で様々な問題が山積しています。いずれも複雑で難解ですが、それらをわかりやすく学べる企画ができればいいなと思っています。よろしく願いいたします。

■緑分館企画実行委員 杉井 亜紀子

自然に囲まれた緑分館で、紅一点委員になります。数年前に越してきて、成熟した町を感じました。移り住んでくる人が“風”なら、地元の方々が“土”で、交わり小金井の“風土”になると思います。老若男女、多くの方々にご参加いただけるよう、企画実行を目指します。

■緑分館企画実行委員 山本 大毅

この2年の間、公民館のお手伝いを通して感じたのは、小金井市民の実生活上の公民館の役割です。今は映画、オペラ、囲碁、料理等をテーマに市民のみなさんと一緒に自主グループ活動を展開中です。新たな公民館拠点の活動に取組む市民の方々へのアドバイス、協力を惜しまない所存です。

■緑分館企画実行委員 横須賀 裕

小金井市公民館の基本方針である「誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう市民交流を進める身近な課題」を見つけて、企画し、皆様と一緒に有意義な社会人生をすごせる様にしたいと思います。

■ITサポートセンター こがねいパソコン相談室■

インターネットやメールの仕方など、パソコンに関する相談を受け付けています。

開催時間 毎週日曜日と水曜日の午後1時から3時まで

開催場所 公民館本館・貫井南分館・東分館・緑分館・貫井北分館

費用 無料 **対象** 市内在住・在勤・在学の方
問合先 公民館本館 (☎042-383-1184)



後列左から、森、本多、小野寺
 前列左から、大嶋、川原、沖

■貫井南分館企画実行委員 森 廣美

私は、リタイアして6年。公民館事業に積極的に参加したお蔭で、今ではすっかり地元人間になりました。企画実行委員も3期目になりますので、皆さんに喜んでもらえる講座の企画・運営に一層努力したいと思っています。

■貫井南分館企画実行委員 本多 註明

3期目になりました。事業アンケートから感じるのは、市民の皆さんの向上心や向学心の高さ、中でも野外学習等の満足度の高さです。学びの場を野外に求めている人が多いとの思いから、野外学習に力が入ってしまいます。

■貫井南分館企画実行委員 小野寺 徹

先輩諸氏の培った交流の場「南分館」を大事に第24期企画実行委員を務めて参ります。各、スタッフの並々ならぬ努力が一つ一つの講座となっていました。これからは「身の引き締まる思い」で頑張ります。

■貫井南分館企画実行委員 大嶋 郁子

企画実行委員第3期目です。諸先輩との対話を胸に、また地元自治会の方々と連携をとりながら、良い企画を考えていきたいと思っております。野川公園、小金井公園を散策しながら、小金井の歴史を学んで行きます。

■貫井南分館企画実行委員 川原 美紀

3年前に永住の地として引越して来ました。未就学児2人の子育て真っ最中ですが、大先輩方にご指導頂きながら一生懸命頑張ります！

皆様の喜んで頂ける企画を作り上げていきたいと思っておりますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

■貫井南分館企画実行委員 沖 恵子

魅力ある企画を目指すのはもちろんのことですが、休憩時間などに雑談したり、親交を深めて、どんなことでも気軽に話しあえる雰囲気大切に、地域の皆様が1人でも参加しやすい講座となるようにと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

市民講座 「貫井囃子」 貫井南分館

小金井市無形文化財指定をうけている「貫井囃子」の歴史や、普段身近でみることがない山車など、「貫井囃子」に触れてみませんか。

とき・内容 10月8日・15日・22日 (全3回)

いずれも土曜日、午前10時から正午まで

ところ 公民館貫井南分館学習室A・B

講師 大澤国栄さん (目黒流 貫井囃子保存会会長)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 40人(申込順) **参加費** 無料

申込 9月16日から電話、または直接公民館貫井南分館 (☎042-383-1168)へ。

◆ 9月の公民館主催事業募集情報 ◆

公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
本町 2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
	☆市民講座 「貫井囃子」 ☆成人学校 「木の実ウォッチング」 市報 9月15日号に詳細	☆成人学校 「野川の下流域を巡る」 「想像力を高めて「その時」 に備える防災実践講座」 ☆市民講座 「わがまち歴史散歩～人 物・街道・商い～」 市報 9月15日号に詳細		☆成人学校 子育て・子育て支援「の びやかーナ子育て学級」 市報 9月1日号に詳細

講座報告

「陶芸入門教室」

貫井北分館

陶芸入門教室（全7回）を開催しました。

貫井北分館での陶芸入門教室は、今年度で3回目となります。小金井市在住の陶芸家東田茂正先生を講師に招き、「他では経験できない入門教室」をテーマに講座の企画から参加させていただきました。

陶芸入門教室としては、新しい試みとして石膏を使った型づくり」に挑戦しました、

固まった石膏に彫刻刀で思い思いのデザインを彫り、それを型にして「花器」「湯のみ」「お皿」を作成しました。

参加者の皆さんで電気式陶芸窯の扉を開けて、焼き上がったご自身の作品と対面した時、窯室内が歓声につつまれました。



今回の陶芸入門教室で初めて陶芸を経験され、その楽しさを知り、今後も陶芸を続けたいという方々には、会員を募集している陶芸サークルをご紹介しました。



公民館の講座を通じて新しい学びの楽しさを発見し、サークルで新たな出会いのきっかけのお手伝いが出て、大変良かったと思います。

●参加者の感想●

- ・とても楽しかったです。親切に教えて頂いて先生に感謝しています。同じグループの方との会話もはずみ、良い時間を過ごすことができました。
- ・自分が思っていた以上の作品が作れて、うれしかったです。さっそく、おかずをのせてみたいです。
- ・作品づくりはもちろんですが、先生の工房を見学させていただいたり、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

第29回 東センターまつり 報告

7月1日(金)～3日(日)開催

今年の「東センターまつり」は、7月1日から3日にかけて物産展などの新しい企画を加えたなか、好天にも恵まれ多くの方のご来館をいただきました。

まつりのスタートは、東分館の講座で行き来のあるおともだちの町「群馬県邑楽町（おうらまち）」の物産展です。野菜など約20品目が発売から1時間足らずで完売となりました。

その勢いを受けてか絵画やキルトなどの展示会場、江戸芸かつぼれの公演も賑わいをみせていました。

2日目は、ジャズやギターの演奏、インドネシアや、沖縄の舞踊、囲碁コーナー、厳かな雰囲気の中行われたお茶席などの公民館利用団体による催し、またバザー、模擬店などもあり館内が活気にあふれていました。

3日目は、カラオケや民謡などの邦楽部門からキッズ、フラ、社交などのダンス部門の発表が行われたほか公民館の主催イベントでは、Duo Deux Fleurs 一デュオドゥフルルーによるヴァイオリンコンサート、図書館東分室主催のお話し会を行いました。



今回の東センターまつりでは、熊本地震災災害義援金を実施し、39,005円の寄付をいただきました。御礼申し上げます。

↑ヴァイオリンデュオコンサートの様子

来年は、30回目の記念すべき東センターまつりとなりますので、さらに公民館を利用する皆さんと連携して楽しく喜んでいただける地域のまつりにしたいと思います。



↑公民館利用団体による
エイサー披露の様子



↑「琉球舞踊と歌・三線」発表者と観
覧者が一緒になって楽しみました。

古紙配合再生紙を使用しています。